

・5分前着席を心がけましょう

司式 熊田雄二牧師

奏楽 門脇陽子姉妹

前奏
開会招詞

* 賛美歌 18:1 まきびとひつじを

まきびとひつじを まもれるそのよい
たえなるみうたは あめよりひびきぬ
よろこびたたえよ 主イエスはうまれぬ アーメン

* 開会祈禱

罪の告白 祈禱書2 (詩編51編)

神よ、わたしを憐れんでください。御慈しみをもって。深い御憐れみをもって、背きの罪をぬぐい去ってください。わたしの咎をことごとく洗い、罪から清めてください。わたしは咎のうちに産み落とされ、母がわたしを身ごもったときも、わたしは罪のうちにあったのです。

わたしを洗ってください。雪よりも白くなるように。神よ、わたしの内に清い心を創造し、新しく確かな霊をさずけてください。救いの喜びを再びわたしに味わわせ、自由の霊によって支えてください。主よ、わたしの唇を開いてください。この口は、あなたの賛美を歌います。主イエス・キリストの御名によって。アーメン。

罪の赦しの宣言

十 戒 祈禱書4

1. あなたは、わたしのほかに、何者をも神としてはならない。
2. あなたは自分のために刻んだ像を造ってはならない。それにひれ伏してはならない。それに仕えてはならない。
3. あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに唱えてはならない。主は、み名をみだりに唱える者を、罰しないではおかない。
4. 安息日をおぼえて、これを聖とせよ。
5. あなたの父と母を敬え。
6. あなたは殺してはならない。
7. あなたは姦淫してはならない。
8. あなたは盗んではならない。
9. あなたは隣人について偽証してはならない。
10. あなたは隣人の家をむさぼってはならない。隣人の妻、またすべて隣人のものをむさぼってはならない。

(出エジプト20、申命記5)

* 賛美歌

18:2 仰げばみ空にきらめく赤星 夜昼さやかに
輝きわたれり 喜びたたえよ 主イエスはうまれぬ アーメン

共同の祈禱 祈禱書11 降誕節 第四主日 誕生

せい かみ
聖なる神さま、あなたをさんび
さんび

あなたは、かみ ひと ご ひと
神のひとり子として生まれさせ、かれ しん もの つみ すく
彼を信じる者が罪から救われ、神の子となる力
をあた
をお与えくださいました。

すく ぬし う
救い主がお生まれになったとき、あなたは、ひつじか はかせ
羊飼いや博士たちが、キリストをれいはい
礼拝できるよう
にみちび
導かれました。そのように、あなたのみことば せいはい
御言葉と聖霊は、あらゆる時代をじだい つう
通じて、あらゆる所
で、キリストをれいはい
礼拝できるようにみちび
導いてくださることをかんしゃ
感謝します。

いま
今わたしたちは、キリストをれいはい
礼拝する、このきょうかい
教会へとみちび
導かれました。神の子となるようにまね
招いて
くださった、あなたのみこころ
御心を、ゆた
豊かにいただくことができますように。

(ヨハネ1、ルカ2、マタイ2)

献 金 (黒)教会活動 (赤)神学校を覚えて 18:3
その星しるべに みたりの博士ら メシヤをたずねて はるばる旅しぬ
よろこびたたえよ 主イエスはうまれぬ アーメン

《 子どもプログラム 担当：佐藤紀子執事・那珂百合子姉妹 》

聖書朗読 ルカによる福音書 3章21~38節(新約聖書106頁)
説教・祈祷 「神につながる系図」 熊田雄二牧師

* 賛美歌 18:4 くすしき光の導くまにまに 博士はまぶねの
主イエスにまみえぬ 喜びたたえよ 主イエスはうまれぬ アーメン

* 主の祈り 祈祷書1

てん
天にましますわれらのちち
ちち
父よ
ねが
願わくは御名をあがめさせたまえ
みくに き
御国を来たらせたまえ 御心みこころ
のてん
天になるごとく 地にもなさせたまえ
われ にちよう かつて きょう あた
我らの日用の糧を 今度も与えたまえ
われ つみ おか もの われ ゆる
我らに罪を犯す者を我らが許すごとく 我らの罪をも許したまえ
われ
我らを試みに会わせず 悪より救い出したまえ
くに ちから さか
国と力と栄えとは 限りなく汝のものなればなり アーメン。

* 頌 栄 21:1 きよしこの夜 星は光り
救いの御子はまぶねの中に眠りたもう いと安く アーメン

* 祝 祷

後 奏 (黙祷)

報 告 古澤兵庫長老 当番執事：古澤・星野(藤井・森永)

I なぜイエスが悔い改めの洗礼を

ルカは詳しく調べて福音書を書くと言っていますが、主イエスが洗礼者ヨハネから洗礼を受けた話は、マタイの方が詳しいです。洗礼者ヨハネはイエス様のことを「私はその方の履物のひもを解く値打ちもない」と言っていますので、イエス様が何者か知っています。そこで、「私こそあなたから洗礼を受けるべきなのに」と言います。

しかし、イエス様は洗礼をお受けになりました。「彼は罪人のひとりに数えられた」という預言が成就するためです（イザヤ53：12）。こうして、罪人とのつながりが始まりました。罪がないのに罪とされることは、十字架に架かる時、不当な裁判でハッキリします。

イエス様が洗礼をお受けになったことには、もう一つ意味があります。メシア任職としての洗礼です。罪人を救うキリストの仕事の始まりです。そこで、洗礼をお受けになった時、「聖霊が鳩のように目に見える姿でイエスの上に降って来た」のです。「目に見える姿で」という描写はルカだけが描いています。イエスのメシア任職は多くの人が目撃証人なのです。多くの人々が洗礼を受けましたが、イエス様が洗礼をお受けになった時だけ、聖霊が鳩のように降りました。

「鳩のように」とは平和を意味するので、「天が開け(裂け)」、「あなたは私の愛する子、私の心に適う者」という声が、天から聞こえました。それまでは、天は閉じていて、神と罪人とは敵対関係にありました。イエス様が十字架にお架かりになって息を引き取った時、神殿の聖所と至聖所を隔てる幕が上から下まで真っ二つに裂けました。神と罪人をへだてる幕が裂けたので、天が開けました。

しかし、主イエスが「あなたは私の愛する子、私の心に適う者」と呼ばれるのは当然です。主イエスは、本来、天の神の御子です。天の神の御子が地上に降りてそう呼ばれるのは、罪人たちが神の子たちとされて、「あなたは私の愛する子、私の心に適う者」と呼ばれる必要があるためです。そう呼ばれなければ救いはありません。罪人は神の心に適わないのです。その天からの声は私たちが聞くためです。

イエス・キリストにつながれなければ、神につながれることはありません。神につながれなければ、救いも命もありません。罪の赦しも永遠の命もありません。神とのつながりが絶たれたのが、アダムの子、原罪です。神とのつながりが回復されるのがキリストの十字架、贖罪です。私たちは生まれながらにアダムの子らですから、キリストによる新しい誕生によって神の子らとされるのです。

II 神につながる系図

キリストによる新しい誕生によって神の子らとされる系図、それが次の段落の小見出し「イエスの系図」です。主イエスがメシアの仕事を開始されたのが「およそ30才」とルカだけが記してくれていますので、私たちはキリストの生涯の年齢を知ることができます。イエス御自身がキリストだと意識して公言されたのも12才と、ルカだけが記しています。節目の年齢を書いてくれるのが医者らしいところです。

「およそ30才」とは、宗教的には幕屋や神殿の仕事ができるレビ人の年齢と関係づけることも考えられます（民数記4：3、歴代誌上23：3）。しかし、身体的には最も働き盛りの若さがある年齢です。イエス様はヨボヨボになって十字架にお架かりになったのではないのです。耐えうる限りの体力を持って肉体的苦痛を受けてくださいました。

さて、系図の始めに「イエスはヨセフの子とされていた」とあります。この言い方は、確かに、そう思われていたという一面もあります。特にユダヤのナザレ村では。もちろん、ルカはイエス誕生の次第を詳しく書いているので、天使の受胎告知により、聖霊によりて宿り、乙女マリアより生まれたことを知っています。だから「イエスはヨセフの子とされていた」という言い方には、実はそうではないのだが、という面もあるでしょう。が、ヨセフからさかのぼって神に至るには欠かせない人なのです。実の子ではないですが、契約上つながりがあるのです。

系図の中で特に大事なものは、ダビデ・アブラハム・アダムです。「アブラハムの子、ダビデの子、イエス・キリストの系図」がマタイ福音書ですが、その逆をルカは書こうとしました。マタイは、アブラハムから始まるイスラエル人に、イエスがキリストであることを証明しようとした。だから、旧約聖書から続けて読むには、マタイ福音書がいちばんスムーズにつながります。

ただしそれは、旧約聖書を知っていることが前提です。そんな人はほとんどイスラエル人です。ルカは、異邦人も神に至ることができる系図を書こうとしました。ルカは異邦人の使徒パウロの弟子ですから、伝道旅行のお供をしながら、異邦人もイエスにつながる系図を書こうとしたのです。

クリスマス・ツリーは、やはり、この系図を説明するのに便利な視覚教材です。てっぺんの大きな星はイエス様で、天の神につながっています。ツリーのあちこちの星や飾り物は私たちです。旧約時代のクリスチャンも新約時代のクリスチャンも含みます。イエス・キリストにつながる系図だけが、神につながる系図となります。キリストを信じて神につながりましょう。これだけが永遠の命の祝福を受ける系図です。永遠の神と共にいる喜びです。